

「データとの対話S」(商)
「情報処理 II」(経)
「情報処理特論 I」(法)

(C言語によるプログラミング入門)

担当 斎藤博昭

プログラミングとは

- コンピュータ用のプログラムを作成すること
- プログラムは「どういう手順でどういう計算(処理)をするかを細かく書いた指令書」
- いろいろなプログラミング言語がある
(この授業ではC言語を使います)

方針

- C言語を使って**プログラミングの初歩**を学ぶ（秋学期は春の続きとなる）
- (一応) プログラミング初心者が対象
- 出席は取らない予定ですが、**休まないでください**
- 教室で**自分でプログラミングする**
- 難しい数式は出てきません

3

教科書・参考書

- 特定の教科書は使いません
(しばらくしたら、自分にあったものを購入することを勧めます)
- 授業の資料は
[http://www.nak.ics.keio.ac.jp/class/
hc/index.html](http://www.nak.ics.keio.ac.jp/class/hc/index.html)
に置きます

4

評価

- 「レポート2回または3回 + 確認試験」に基づいて評価します
確認試験は持込可の筆記で7月?
(7月16日か? 予告します)
- 単位を取ることは難しくないが、評価Sは大変だろう
- TAさんも來るので、疑問点はこの教室で解消してください

5

環境

- この部屋のパソコンに入っている Visual Studio 2015 を使います
(無償版もあるので、家のパソコンに入れるといいでしよう。わたしはVisual Studio Express 2015 for Windows Desktop というものを入れました)
- 来週から授業をするので、慶應ITCの windowsアカウント (uaやubで始まる) に入れるようにしておいてください

6

Visual Studio を使わない人へ

- Macを持っている人は、すでに入っているC言語処理系(Xcode?)を使うとよいでしょう。
(詳しくはTAの飯田さんに聞いてください)
- Cygwinなどでgccを使ってもいいです

7